



2026.2.18 一品香 甘木店にて

事業報告Ⅰ うきはブロック介護サービス事業連絡会との意見交換会

令和8年2月18日、朝倉市の「一品香 甘木店」において、当協議会とうきはブロック介護サービス事業連絡会との意見交換会を開催しました。

当日は、朝倉側8名、うきは側11名が参加し、各団体の役員やサービス種別ごとの部会長など、現場を担うメンバーが一堂に会しました。自己紹介の後は、食事を交えた和やかな雰囲気の中で交流を深め、日頃の業務における課題や現状について、活発な情報交換・意見交換が行われました。

これまで役員間での会議を行ってききましたが、今回は実務を担う部会長クラス同士が直接顔を合わせたことで、より具体的で実践的な意見交換の場となりました。サービス種別ごとの共通課題や地域特性の違いなどについて理解を深める貴重な機会となり、今後の連携や協働への期待が高まる有意義な会となりました。

今後もこのような機会を継続し、地域における介護サービスの質の向上と相互連携の強化につなげてまいります。

「朝倉介護保険事業者協議会総会・懇親会」のお知らせ

令和8年度 朝倉介護保険事業者協議会総会・懇親会を下記の通り開催します。
各事業所宛に案内文書を送付しますので、ご確認のうえ、出席または委任状の提出をお願いします。

日 時 : 令和8年5月22日(金) 総 会 18:00～

懇親会 19:00～

場 所 : 福岡センチュリーゴルフ倶楽部

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <https://asakura.in>

朝倉介護

検 索



事業報告 II 令和7年度 第4回スタッフセミナー

朝倉介護保険事業者協議会 研修部 坂口 昭太郎

令和8年2月26日(木) ピーポート甘木・中ホールにおいて、「介護事業所のリスクマネジメント研修」をテーマとした第4回スタッフセミナーが開催されました。

本研修の講師には、社会保険労務士のぐち事務所 代表の野口博之氏をお招きし、介護現場におけるリスクマネジメントの基本的な考え方から、具体的な実践手法まで、分かりやすくご講義いただきました。



本研修では、介護現場における安全管理の重要性について、改めて認識を深める機会となりました。介護の現場には、転倒・誤嚥・火傷など、日常業務の中に多くのリスクが潜在しています。これらのリスクに対しては、個々の注意力に依存するのではなく、「人はミスをする」という前提に立ち、事故につながらない仕組みづくりが重要であることが強調されました。

特に印象的であったのは、ヒヤリ・ハットに対する考え方です。ヒヤリ・ハットは単に減らすべきものではなく、「積極的に発見し共有すること」が重要であり、その蓄積が潜在的な危険の早期発見と事故防止につながるという視点は、現場の安全文化の醸成において極めて重要であると感じました。加えて、危険予知トレーニング(KYT)や指差呼称といった具体的手法についても学び、日常業務の中で実践していく必要性を再認識しました。



また、事故発生時の対応として、原因を多角的に分析し再発防止につなげることの重要性についても理解を深めました。SHEL分析などの手法を活用することで、個人の要因にとどまらず、環境・設備・組織体制といった多面的な視点から事故を検証できる点は、実務において非常に有用であると感じました。

介護は利用者の生活を支える責任の重い仕事です。日々の小さな気づきを大切に、職員間での情報共有を積み重ねることで、安全で安心できるサービスの提供につなげていくことが求められます。今回の研修で得た知見を各事業所の現場に持ち帰り、組織全体でリスクマネジメント意識の向上に取り組んでいくことが期待されます。

最後に、本研修において貴重なご講義を賜りました野口博之先生に、心より御礼申し上げます。野口先生、お忙しい中で講演いただき、誠にありがとうございました。



事業報告Ⅲ 部会活動報告

福祉用具部会

福祉用具部会は、令和7年12月に5事業所にて開催しています。令和8年度からはZoom会議での開催も視野に入れ参加事業所を増やしていきたいと考えています。福祉用具業者間での交流というのはあまりなく、福祉用具部会を通じて朝倉市の現状や情報共有を主に話しています。

各事業所が抱えている問題や疑問について、部会を通してみんなで検討できる環境で意見交換等が図れたかと思いません。今後も利用者様の安全な生活ができるよう支援していきたいと思えます。

スキップ朝倉店 中野 栄二



事業報告Ⅳ 褥瘡予防研究会

タイハイ M&C 久留米営業所 坂田 浩二

令和8年1月22日、朝倉地域生涯学習センターにて、褥瘡予防研修会が開催されました。今回、講師に株式会社ケーブ様をお招きして「褥瘡予防用具とポジショニングについて」の題目でご講話頂きました。

床ずれ予防やポジショニングについてのポイントの説明、エアマットやクッションの紹介等、現場で活かせる色々なお話がありました。実際にエアマットやクッションを使用し、ポジショニングの説明があり、参加者もポジショニングの大切さを体感する事が出来ました。

適正な福祉用具を使用し、適切なポジショニングを行う事で、利用者様の負担を軽減し、床ずれを予防する事が出来ます。

今後も、褥瘡予防研究会では、地域の利用者様の床ずれ予防の手助けとなる取り組みを行ってまいります。



「介護の魅力発信・普及啓発授業」 第3回目を実施

共催：朝倉介護保険事業者協議会／朝倉市 介護サービス課

令和8年2月4日と6日、朝倉東高校にて「介護の魅力発信・普及啓発授業」第3回目を実施しました。今年も、疑似体験や車椅子体験、意見交換等を通じて介護への理解と関心を深めていただきました。



My Way

ほがらかデイサービスアルファ俊聖の 松尾 明美さん

今回、ご紹介するのは、ほがらかデイサービスアルファ俊聖で管理者として活躍されている松尾明美さんです。

松尾さんは介護経験20年のベテランスタッフです。昨年より管理者に就任し、その豊富な経験と確かな判断力で事業所を支えています。責任感が強く、常により良いケアを目指す向上心の持ち主で、日々の業務に真摯に取り組まれています。現在は特に人材育成や職場環境改善に力を入れており、スタッフ一人ひとりが安心して働きながら成長できる職場づくりに尽力されています。

プライベートでは、子育てやお孫さんのお世話を励むなど、ご家族との時間を大切にされています。休日には家族そろってのバーベキューを楽しむことが何よりのリフレッシュだそうです。また、お酒を楽しむひとときもお好きとのこと、オンとオフの切り替えを大切にしながら、日々の活力につなげていらっしゃいます。

今後ますますのご活躍が期待されます。

紹介文：石丸 綾香



次回は松尾さんからの紹介で「あまぎケアプランサービス 羽野 由里子さん」です！

Hobby Box

～グループホームに対する思い～

グループホームさくら 宮川みどり

私にはこれといった趣味が思い浮かばず、これまで自分が何をしてきたのかを振り返ってみても、はっきりとした答えが見つかりませんでした。そこで今回は「人が好き」という思いをテーマに、趣味ではなく、人とのかかわりについての考えを書かせていただきます。

私は若い頃から看護の仕事に携わり、病院で勤務してきました。病棟では、寝たきりの方が動かれることを防ぐために抑制をされている患者さんもおられ、「病院は命を預かる場所である」と理解しながらも、そのような光景が日常となっていました。

そのような中で、新聞やテレビを通じて、高齢者や認知症の方が自由で楽しく過ごせる「宅老所」の存在を知り、大きな関心を持つようになりました。実際にさまざまな施設を見学させていただくと、そこにはこれまでの病院とはまるで異なる、まさに天と地ほどの違いを感じる光景がありました。

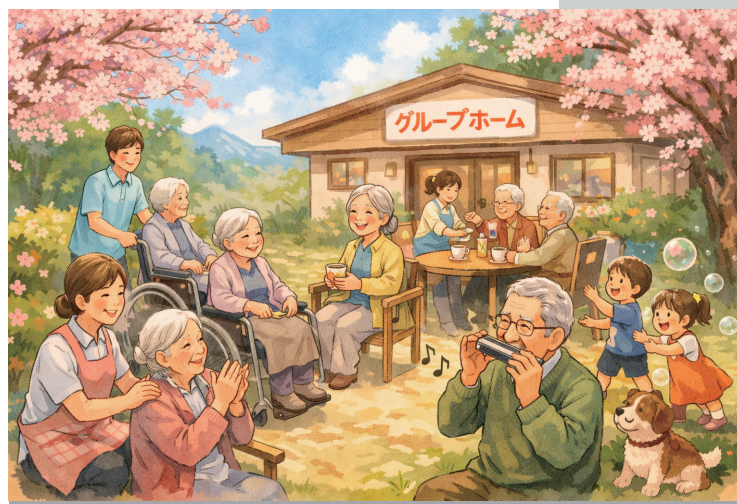
利用者の皆さんは、笑ったり怒ったりと、それぞれが自分らしく過ごしておられます。見知らぬ者同士でありながらも、穏やかでいきいきとした表情で生活されている姿が印象的でした。少人数で寄り添うことができる環境の中で、「介護」と「看護」の違いを実感し、私もこのような場所で高齢者の方と関わりたいと強く思うようになりました。

その後、同じ志を持つ仲間とともに経験を重ね、平成13年11月、筑前町にグループホームを立ち上げました。開設当初は思うようにいかず、挫折を繰り返す日々でしたが、スタッフとともに試行錯誤を続けてきました。

その中で気づいたのは、私たちの考えを利用者様に押し付けてしまっていたのではないか、ということでした。そこで改めて原点に立ち返り、他施設の方々からの助言もいただきながら、「その人らしさ」を大切にしたい支援へと見直していきました。

今日まで続けてこられたのは、専門職の先生方のご指導、地域の皆様の温かい見守りのご理解、そしてご家族様のご協力があってこそと深く感謝しております。

これからも初心を忘れることなく、スタート地点に立ち返りながら、一日一日を大切に取組んでまいります。



介護スタッフリレーコラム

「住み慣れた我が家で暮らし続けるために」

ヘルパーステーションけんせい 郷原 里砂

私は現在訪問介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護に従事しています。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、ご利用者様のご自宅や施設を訪問し、日中や夜間を問わず24時間を通して必要なタイミングで支援を行っています。

在宅ケアの魅力は「その人らしい暮らし」を支えられることだと感じています。住み慣れた我が家で、ご家族や地域との繋がりを保ちながら生活を続けられることは、ご本人にとって大きな安心につながります。

訪問の度に見せてくださる笑顔や「来てくれてありがとう。良かった。嬉しい。」という一言は、私にとって何よりのやりがいです。体調の小さな変化に気付けた時や、ご本人の生活リズムが整い穏やかな日常が続いている様子を見ると、この仕事の大切さを実感します。

介護は「特別なこと」ではなく、誰にとっても身近なものです。地域で支え合いながら、安心して暮らせるまちづくりの一環を担えていることを誇りに思っています。

これからも、ご利用者さまとご家族さまに寄り添い「ここで暮らせて良かった」と思っただけの支援を続けていきたいと思えます。

徒然日記

しのくま整形外科クリニック 原口 貴嗣

～裏方さん～

先日新聞で読んだのですが、2月14日から秋
月で雛祭りが開催されているそうです。

“古都秋月雛めぐり”として、600体の雛人形
が飾られている、とあります。まだ写真でしか見
たことがないのですが、圧巻です。

これだけの雛人形を並べるだけでも大変な作
業ですが、お客さんが喜ぶ姿を想像しながら頑
張っておられると思うと、頭が下がります。裏方
さんのおかげですね。

最近地域の行事などで裏方として動くことが
多いのですが、やはり参加者が楽しそうにしてい

ると、それだけでも満足感があります。

ただ、“ありがとう”など一声かけていただけ
ると、やって良かったなど、本当に嬉しくなりま
す。ちょっとした一言でも、大きな力になるもの
です。

秋月の雛人形は、雨が降ると急いで片付けて、
晴れたらまた並べると聞いたことがあります。本
当に大変だと思いますが、機会があれば“ありが
とう”と伝えてみたいと思えます。

仕事でも行事でも自宅でも、表に出ることが少
ないたくさんの方々に感謝です。

編集後記

春は「別れと出会い」の季節と言われます。

現場では、新人や異動による出会いと、退職や異動による別れが同時にやってきます。

本号の意見交換会では、新しいつながりが生まれ、人と人とのつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。

別れがあるから出会いがあり、出会いがあるからまた次へ進める——そう思うと、この季節はやはりウキウキするものです。

ただ、顔と名前を覚えるのが本当に苦手な私にとっては、毎年少しだけ試練の季節でもあります。 (広報部：尾花)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0069 福岡県朝倉市来春 422-1
一般社団法人 朝倉医師会
介護支援センター 医師会ケアプラン
TEL 0946-21-8022 FAX 0946-21-8028

編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-1702 福岡県朝倉郡東峰村福井 942-1
社会福祉法人 朝倉恵愛会
特別養護老人ホーム 宝珠の郷
TEL 0946-72-9811 FAX 0946-72-9813
印刷／井上総合印刷株式会社